

株式会社 テラダ

薄物加工を極め 装置メーカーへの飛躍目指す

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



得意とする薄物旋盤加工部品

主な事業内容

精密金属部品の加工、
測定装置の設計、開発、製造

主な取引先(納入先)

アルバック・クライオ(株)、
(株)鈴木商館、大学・研究機関

主な製品

極低温冷凍機や超高真空装置
向けの精密部品、メタルパッキン

業務内容 極低温冷凍機向け 部品加工に多くの実績

「薄物旋盤加工」を得意とする金属部品メーカー。特に、極限まで温度を下げる必要があるため、薄さや高い精度が求められる極低温冷凍機向けの部品加工において、同社は多くの受注実績を持つ。職人技を発揮しやすい汎用旋盤やオープンタイプのマシニングセンター(MC)を駆使した単品加工をメインの業務とするが、近年は生産設備の増強にも着手し、500〜3,000個の量産品にも対応できる体制を整える。寺田厚志常務は「寸法だけではなく、真直度や真円度、円筒度といった幾何公差にも対応しており、100分の1mm単位で薄物が加工できる会社は全国でも少ない」と胸を張る。

強み 材料の固定や工具を 極め高い精度を実現

昭和10年、寺田常務の祖父が汎用旋盤1台で加工業を始めたのが会社のスタート。早くから高圧ガスや航空機関連の部品を手がけ、今の薄物旋盤加工につながる切削技術や作業ノウハウを磨いてきた。薄物と呼ばれる金属部品は歪みやすく、高い精度を出すのが難

代表者あいさつ



常務取締役
寺田 厚志さん

「ものづくりを楽しむ」というスローガンのもと、20代の技術者が中心となり製造現場を取り仕切っています。薄物旋盤加工では、どの企業にも負けない気持ちを常に持ち、これからもレベルアップできるよう、精進していきたいと考えています。

主な保有設備

- 汎用旋盤
400φ×600mm
DMG森精機製 2台
- NC(数値制御)旋盤
420φ×300mm
オークマ製 1台(他 2台NC有り)
- フラット型NC旋盤
540φ×1,500mm
大日金属工業製 1台
- マシニングセンター
500×1,050mm
山崎技研製 1台

大阪
01

住 所 / 〒581-0067
八尾市
神武町1-82
T E L / 072-943-2070
F A X / 072-943-2071
創 業 / 昭和10年4月
設 立 / 昭和63年9月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 11名

装置開発 研究機関への測定装置 納入契機に事業化進める

10年ほど前にホームページを立ち上げ、薄物旋盤加工という強みをアピールしたところ、全国から試作の依頼や相談が寄せられるようになった。大学や研究所などからの依頼も多い。その縁から平成30年11月には極低温冷凍機関連の測定装置を自社で開発し、公立の研究機関に納入した。令和元年に入り、装置の設計や開発を担う開発戦略部を立ち上げ、専任スタッフも雇い入れた。寺田常務は「薄物の単品加工や量産品への対応を事業の柱にしながら、5〜10年後には装置メーカーとして面白くと言われるような存在になれたら」と今後の展望を思い描いている。



事務所にある「旋盤最強」の文字



若手技術者が活躍する加工現場



<https://terada-lathing.jp/>